

# ARAI

## NEWS

(株)新井広武

〒330 埼玉県大宮市東町2-12

☎0486(4)3825-7

### Araiのベンチレーションいろいろ



インダクションポッド  
色 白、赤、青、黄、黒、銀、メタブルー、ガンメタ  
価格 ¥1,200



インダクションポッドII  
色 白、赤、青、黄、黒、銀、メタブルー、ガンメタ  
価格 ¥1,200

レース用エアダクト  
色 白、赤、青、黄、黒  
価格 ¥600

暖かな季節となり、ヘルメットにもベンチレーション効果が欲しくなる頃になりました。そこで今回は新しく加ったベンチレーションシステムについて、ご紹介をさせていただきます。

●  
①のベンチレーションシステムというラバイド・ベント・トローフィー等でおなじみの、アゴ部のスリットから入れた空気を、一部を口元に、その他は頭全体に回しネックパットのメッシュ部から引き出すというシステムがあります。布地にも汗をかいても常にサラッとした感触を保つ特殊吸水性布地を以前から使用しています。このシステムも発売当初より進化して、モルト切断面の改良やネックパットアウトレットのクッション材変更等によりヘルメット内の空気抵抗が減り、通気効果は高められています。

●  
しかし、それでもまだ足りないという方のため、新たに用意されたのがラバイド系のモデルに設けられている天井部のドレイン穴から、内部の緩衝体を通し、前頭部に空気を導く方法です。これも、安全性には妥協を許さないという②の信念に基づき作られたものです。ヘルメットは衝撃を受けると、その衝撃は帽体によって発散され発泡スチロール製の緩衝体によって吸収されます。その際、側頭部や後頭部では比較的広い面積で衝撃エネルギー

ギーを吸収しますが、事、おてこに関しては狭い面積で

●  
衝撃エネルギーを吸収しなければなりません。だから③は、世界で只一社ですが、おてこの部分について硬度を変えた緩衝体まで使用しています。それは安全の為、前頭部がそれ程までに大切な箇所だと考えるからなのです。また、大きな衝撃を受けるとヘルメットにクラックが入る事がありますが、そのクラックは必ずヘリや穴の方向に向かって走ります。ですから、ベンチレーション効果のためにも、通気のため必要な穴も出来るだけヘリから離して開けなければなりません。そこでドレイン穴は衝撃を受ける可能性の殆どない頭頂部に、しかもヘリから130mm以上離れた箇所に開けています。そして、その穴は貫通テストにも充分パスするように開けられているのは勿論です。

●  
このドレイン穴に取り付けるべく用意されるオプションは、スペンサーGP-Iに取り付けられているインダクションポッド、加えて形状の異なるインダクションポッドII、そしてM-X用として既に発売されているレース用エアダクト等が有り、好みに合わせて選ぶことが出来ます。

●  
インダクションポッドの形状は、④のスタッフが走行試験を繰り返しながら煮詰めたもので、ポッド内の空気を導くために後方に小さな穴を開けたり、ある程度の高さをもたらすことにより40-50kmの低速でもヘルメット内に穏やかな空気の流れを生じるよう作られていますが、高速走行時も考えて空気流量は3段階に調整出来るようになっています。先日の全日本選手権第二戦では平忠彦選手がインダクションポッドを取り付けて走り優勝しましたが、快適だったと喜んで頂けました。

●  
インダクションポッドは両面テープと直径2mmの小さなねじで取り付けられるようになっていますが、ご自分で取り付けられる際にはネジの代わりに瞬間接着剤をお使い頂いても充分です。またラバイドベースでも天井に穴の開いていないモデルもありますが、穴を開ける為、ご自分で改造なさらぬようお願いいたします。有償にはなりますが、メーカーでの取り付けが可能な場合も有ります。ご希望のかたはヘルメットをお買いになったお店にご相談くださるようお願い致します。

